



矢倉学区
未来のまち協議会

矢倉学区 (3月1日現在) (増減)
人口 9,826人 (-12人)
男性 4,858人 (-7人)
女性 4,968人 (-5人)
世帯数 4,256世帯 (+1世帯)

矢倉みらい通信

Yagura Mirai Tsushin

発行
矢倉学区未来のまち協議会
連絡先
TEL・FAX 077-565-1560
E-mail yagura@machikyou.jp
ホームページ
<http://www.kusatsu.or.jp/machikyou/yagura/>

矢倉学区の地区防災計画策定にあたって

草津市矢倉学区は住宅地を中心に立地しているが、工場や農地も混在するベッドタウン的な様相を呈している地域です。地区防災計画の策定にあたっては、学区住民だけでなく、草津市危機管理課職員、外部関係者として大学の専門家（龍谷大学政策学部講師 石原凌河先生）とコンサルタント（一般財団法人 関西情報センター）が協働して策定を進めてきました。



まち点検の様子



防災マップの作成の様子

【計画の特徴】

1. 計画の対象

矢倉学区地区防災計画では地震と風水害を対象とし、琵琶湖西岸断層帯等の直下型地震を想定して、起こり得る被害の想定と地震発生直後から広域避難所までの時間軸を対象としました。風水害では河川や側溝・ため池の氾濫を想定した内水氾濫を対象に、起こり得る被害の想定と、氾濫発生を見据えた避難の対応について議論しました。

2. 事業所との連携

矢倉学区には多くの事業所が立地しています。「災害時には地区住民と事業所とで助け合う」ことが不可欠であるという認識の下、矢倉学区の代表的な3つの事業所を訪問し、災害時に地域住民と事業所の双方が意見交換を行い、協力体制を確認しました。

3. 町内会の体制づくり

矢倉学区の全ての町内会にアンケート調査を行い、①町内会の特徴 ②町内会での防災の取り組み ③災害発生時の不安 ④避難の体制と避難場所 ⑤町内会の避難経路と避難場所の位置の5つを把握しました。そして、町内会ごとの防災の取り組みや避難の体制を学区で共有するために、それらを地区防災計画に盛り込みました。

【地区防災計画策定の成果】

矢倉学区では地区防災計画策定の以前から地区住民による主体的な防災活動が展開されてきましたが、個別の町内会ごとの活動は熱心であっても、学区全体の取り組みにはつながりませんでした。地区防災計画の策定により、町内会と学区全体の双方の視点から防災上の課題や現行の防災体制のあり方について検討できたことが成果の一つであると言えます。

また、会合に参加した学区住民からは、災害時に連携できる事業所数を増やしていきたいという旨の発言がありました。町内会の体制を共有するだけでなく、学区全体として望ましい体制のあり方について今後検討していきたいという声が上がりました。地区防災計画の策定がゴールではなく、これを契機に学区単位での継続的な防災活動を進めていきます。詳細については、今月中に全戸配布される冊子をご覧ください。

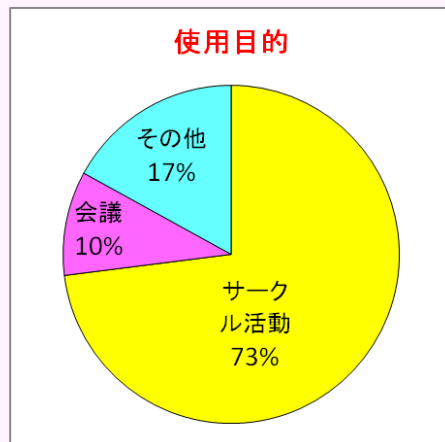
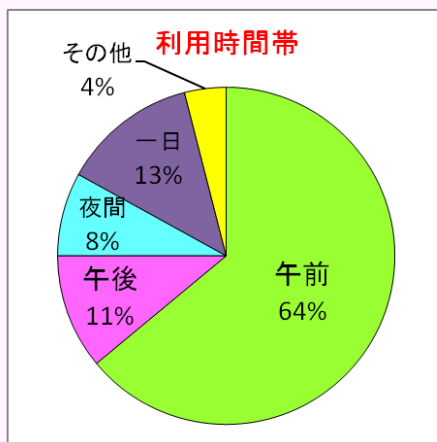
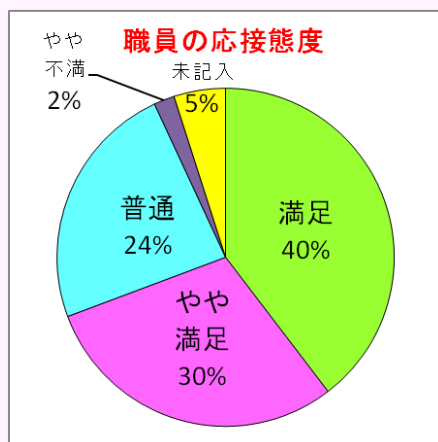
(矢倉学区地区防災計画策定委員会)

矢倉まちづくりセンターのご利用に関するアンケート結果報告（第1回目）

当センターを利用いただく皆様の視点に立った「より良いサービスの提供や施設の運営」となるためのヒントを得ることを目的に、この度、「ご利用に関するアンケート」を実施いたしました。ご協力いただきました皆様方、誠にありがとうございました。ここにアンケートの集計の一部をご報告致しますと共に、お寄せいただいた貴重なご意見等は今後の活動に活かしていく所存です。皆様方におかれましては今後共、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

調査日：平成29年12月 回答者：63人（女性54%・男性46%）

（矢倉まちづくりセンター）



下記のようなご意見もいただいています。

1	年2回の大掃除の曜日は順番にして欲しい（公平に）。
2	男性トイレが洋式になればいいと思います。
3	駐車場の仕方に十分注意し、他の車が出入りしやすいように停めてください。

第3回「ひとり暮らし高齢者ふれあいサロン」の開催！

1月10日（水）、新春早々の開催に相応しく、大正琴「琴伝流楽友会」の皆さんにお越しいただいて、大正琴の奏でる雅やかな音色に聞き惚れ、さらには琴の音色に合わせて「荒城の月」や、「琵琶湖周航の歌」などを全員で大きな声で合唱しました。後半は、健康推進員の方に調理して頂いた昼食をいただきつつ、なごやかな雰囲気のもと、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

（社会福祉協議会・福祉ボランティア委員会）



日頃の練習の素敵な成果を披露していただきました♪

第7回「矢倉学区医療福祉を考える会議」を開催！

2月28日（水）、地域の各団体の代表、医療関係者、介護保険関係者、行政、高穂地域包括支援センターの構成メンバーとして「いくつになっても住み慣れた矢倉学区で安心して暮らすためには、どのような仕組みがあればよいのか」を話し合い、地域に発信していくことを目的に会議を開催しました。今回の会議では、認知症の症状の“徘徊”について、実際の体験談をもとに意見交換を行ないました。徘徊症状は行方不明につながることもあり、まさかのことが起こる前に家族が出来ること、地域が出来ることは何だろうということを話し合いました。徘徊症状のある方に対して温かい気持ちでの見守りの体制が広がるには、高齢者のみでなく、若い世代の方にも認知症のことを正しく知ってもらうことが必要であり、認知症についての地域での啓発を引き続き実施していくことになりました。

（高穂地域包括支援センター）



熱心な討議をされる参加者のみなさん

更生保護女性会の活動から

日本文化に親しむ幼稚園児たち

1月23日（火）、矢倉幼稚園5歳児42人が矢倉まちづくりセンターで、初めての煎茶体験をしました。指導されたのは二條流の市木美知子師範です。お手伝いは更生保護女性会数人がしました。園児たちは、水仙の花や掛け軸、また節分飾りで飾られた和室に静かに入り、正座で座りました。和室の設えやお茶、お点前の作法などのお話を聞いた後、運ばれてくるお菓子やお茶のいただき方を一つひとつ指導いただきながら、その通りに一生懸命に行っていました。子どもたちは、お菓子をほおぼって「おいしい」と顔をほころばせていました。さらに、お茶（薄めの玉露）をいただく「おいしい」という子「にがい」という子、首をかしげてどう言っているか考えている子など表情や感想は様々でした。終始、静かに行儀よく和やかなお茶会となりました。ちょっと改まった気持ちのひと時と、伝統的なお茶の味が心の隅に残ってくれればと願いました。



ちよっぴり神妙にお座り♪

カマドベンチで焼き芋と飯盒炊さん & 手作りカレーで交流会

12月16日（土）、玄甫町の野上公園で同町内の自主防災会の方2人のご協力を得て、BBS寺子屋さんの8人と更生保護女性会5人が交流を行いました。これは寺子屋さんの活動を応援したいと更生保護女性会からの呼びかけで昨年からはじめたものです。

カマドベンチを使って焼き芋と飯盒炊さん、その後、集会所で更生保護女性会による手作りのカレーで昼食をともにしました。飯盒でご飯を炊くのは初めての子どもも多く、皆で温かい火を囲んで、焼き芋やカレーをお腹いっぱい食べて楽し



飯盒の火加減が大切ですね♪

げに会話をする子どもたちの様子を見たり、今の自分について話をしてくれる声に耳を傾けたりして、心に残る時間を過ごしました。

わんぱくプラザ矢倉っ子「昔あそび」

2月3日（土）、児童11人と大人21人でコマ回しやお手玉・おはじき等のお遊びや、全員で「たんす・長もち（もんめもんめ）」「通りゃんせ」をして楽しみました。紙を引っ張る「当てもん」と、紐を引っ張る「当てもん」もしました。子どもたちには珍しく、大人たちにとっては懐かしい遊びです。スマホゲームやカード遊びなど少人数で遊ぶことの多い昨今、大勢で触れ合いながらの遊びに、



こんな遊びがあったんや！面白いやろう♪

大きな笑い声が響き渡るなど、またとない楽しい時間になりました。

人権フォーラム

「実践発表と講演の集い」開催！

2月17日（土）、掲題の集いをまちづくりセンターで開催しました。まず、南草津ピースタウンの貴志推進員による町内学習懇談会で「共に生きるということ」をテーマに意見交換し「色々な立場から考えてみるのが大事」「声掛けをし、ともに考える」等の熱心な討議の報告がありました。人権センターの木村さんからは、一年間の成果と課題を報告していただきました。また、矢倉小学校の大林校長先生から「共に学ぶ、共に育つ」と題した講演があり、学校の人権教育に対する熱心な取り組みについて学ぶことができました。おかげさまで、地域のあり方について振り返る良い機会となりました。

矢倉やすらぎ学級「手話と歌で笑顔になろう♪」閉講式・祝賀会 開催

3月2日（金）、ロクハ荘にて行われました。まずは手話シンガーソングライターとして全国で活躍されているYOKKO（よっこ）さんを迎え、ライブを楽しみました。簡単な手話の手ほどきを受けて、受講生のみなさんも手話をしながら「ふるさと」を歌えるようになりました。祝賀会では、サークル発表や手品などで大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。

来年度も楽しい企画でみなさんと楽しみたいと思いますので、ぜひご参加ください。



よっこさんと共に全員集合♪

キヨラン☆ひと

青木和子さんの座右の銘は「お互い様」と「お蔭様」



東室木町
青木和子さん

主な活動経歴
町会長
民生主任児童委員
青少年育成市民会議会長
現在は、
総務省の行政相談員
市社会福祉協議会の
心配ごと相談員

この座右の銘は、幼いころから両親の会話の中でよく耳にし、人との交わりの中で私にとって大切な言葉になりました。そして、人生の中で得た最高の宝物は「人との出会い」と、たくさんのお役をお引き受けして得た「経験」は、かけがえのない財産です。中には身に余るお役もいくつか有りましたが、支えてくれる人との出会いで無事に責任を果たさせてもらえましたし、30年以上のお付き合いの方も多く、中でも主人とは55年目に突入しました。私の最高の協力者ですと誇らしげに話されます。

人に学び、人に支えてもらった人生です。今は相談員として相談者に寄り添い、一緒に悩める相談員でありたいと思うし、私も行く道、地域の方が幾つになってもお元気で過ごせるお手伝いがしたい。皆さんの笑顔が私の元気の基ですと嬉しそうに話されます。

ここでも、人の関りは「おたがい様とおかげ様」縦横の繋がりやご縁を大切に、もう少し若い人と一緒に頑張ってみようかなと元気に答えてくださいました。

矢倉 ほっと一息

新草津川に約15年前に植えた桜の木が大きく育っています。地元の住人の皆さんがお手植えされたものです。ひとつひとつにお名前が掲げられ、大切にされ、満開の頃、お友達も誘ってお花見をするようです。

楽しみですね。

(提供: K・I)



子育てホットステーション minmin

桜の花びらが舞うには、まだ少し早いでしょうか。矢倉まちづくりセンター・なかよし公園・草津クレアホール等、桜のきれいなスポットが数カ所あります。桜巡りをしませんか？保護者の方の心の余裕が、子育てに大切な事のひとつだと思います。土筆や竹のように、みるみる成長されるお子さんに周囲は目を見張り、とまどったりするものです。花を見て美しいと感じる心で、お子さんの成長を受け止めてあげてほしいと願っています。

今年度もminminや子育てサロンを通じて子育てを応援させていただければと思います。

(民児協)



伝言板

4/14
土曜日

新一年生を祝い、
矢倉っ子の健やかな成長を願って…

矢倉っ子のぼり

10:00 ~ 12:00

自由参加・無料



おとこの出番

会員募集!

(矢倉まちづくりセンター自主サークル)

興味のある方は、
どしどしお問い合わせください!

○活動日：毎月第3土曜日
10:00~12:00
(年間12回)

○会費：年間 2,000円

○活動内容：
テーマは毎月変わります。
ディスカッションで12テーマを決めます。
(料理・座学・施設見学・ウォーキング等、何でもありです)



○連絡先：山本眞志 ☎563-5630

みんなで作った大きな鯉のぼりを矢倉の空にあげませんか?

場 所：矢倉小学校グラウンド (集合：体育館)

持ち物：すいとう・タオル・うわぐつ・おわん・おはし・ビニール袋

♪楽しいゲームもあるよ! (食器を入れて帰ります)

♪12:00ごろから「ぜんざい」と「豚汁」のふるまい(先着各80食)

♪大人の方の参加もお待ちしています。

*記録した写真は、まち協ホームページやみらい通信等に掲載することがあります。
予めご了承ください。

問合せ先：

矢倉学区未来のまち協議会
運動と食育健康推進部会
(まちづくりセンター内
TEL 565-1560)

掲揚期間：4/7~5/6



みんなで作った こいのぼりだよ